

# ふしみさらダボール子育て情報

「知的発達」

令和3年11月24日号

板橋富士見幼稚園



## 遊びは学びの宝箱

大人から見ると「遊び」は無駄のように感じ、ついつい「知育」という言葉に心が惹かれていませんか。子ども達が毎日している遊びをよく見てみてください。一見同じ遊びを繰り返しているように見えますが、昨日と今日とを比べると遊びの中身が違うことに気づかされるかと思います。実は遊びは毎日少しずつ変化しているのです。更によく見てみると、遊びの中で生まれる思考が子どもを動かし、好奇心や興味・関心に揺さ振られ、少し先を想像して繰り返していることが分かります。



このように思いめぐらせ、考え工夫しながら前に進めていくことを専門的にはよく「物語る」と言います。実は、この思いめぐらせることができている遊びほど、知的な行為はないのです。裏を返すと、遊び方が1つに限られている遊びは、知的な発達につながらないということになります。ご家庭の中でも、思いめぐらせることのできるような遊びを用意することが大切になります。

例えば積み木やピタゴラスなどは、いろいろな遊び方を思いめぐらせ、工夫することができます。ジグソーパズルやオセロなど考える遊びも大切です。一方、ゲームや情報機器は、視覚的には面白くて楽しいものなのですが、知的な思いめぐらせる場面との出会いが少なく、長時間向き合って遊ぶものではないように感じます。

幼児期に、知的な遊びが身の回りに用意されていることで「やってみたい」「ママ・パパと一緒にやろう」と興味を示し、物語りながら遊びぶことができます。ぜひ生活の中で心がけてみてください。